



# いろどり+mini plus



# とびだす!

## KON-KON! おじゃまします

# 13

発行：特定非営利活動法人まちづくりスポット大津  
住所：滋賀県大津市二本松1番1号ランチ大津京内  
<https://machispo-otsu.net>

2023年10月、東近江市長による「フリースクール」発言が話題を席巻しました。フリースクールとは不登校の子どもなどに対し、学習活動や体験活動を提供する民間の施設です。県内の小中学生の不登校児数はずっと右肩上がり。コロナ禍を経て増加し、2022年度で約3,400人にのぼります。子どもたちの学びや体験の選択肢の一つとして、「フリースクール」の存在は大きなものになっているようです。今回のニュースレターでは、大津市桐生で2022年にフリースクールを立ち上げた重藤有里さんにお話を聞きました。(以下、敬称略)

聞き手：北井 (以下、まちスポと表記)



スタッフのみなさん (左から2人目が重藤さん)

## 活動名 フリースクール「香こち -kokochi-」

### 活動のきっかけ

**まちスポ：**フリースクール「香こち -kokochi-」は立ち上げから1年3ヶ月とまだ開始して間もないのです。重藤さんは、元小学校教諭とのことですが、フリースクール開設への想いをもってご退職されたのですか？

**重藤：**「香こち」は2022年11月に開設しました。2020年に退職したのですが、きっかけは子どもも小さく、自分自身の時間の使い方や働き方を変えようと思ったことでした。最初はフリースクールについてはまったく意識していなかったんです。どちらかというと、ちょうどアロマセラピーの講師資格を取り、もっとそちらの活動をしたい思いが強かったです。

**まちスポ：**開設には何かきっかけがあったのですか？

**重藤：**退職してから、家庭に訪問して学習指導をしてもらいたいと依頼を受けることがあり、何人かの子どもと関わっていました。その中で、2021年に中学2年生の男の子の訪問学習指導を頼まれ、その子との出会いがきっかけになりました。

学習指導に行く家庭の子どもたちはいろんな子がいますが、その子は学校に行きにくい子でした。訪問していても日によって勉強したり、何もなかったり。何もしない日でも、私と一緒に過ごすんです。次第に、「これでいいのかな?」と思いだしたのです。同じ過ごし方でも、外に出たり、もっと違う経験や体験できることがあるのに、と考え始めて「フリースクール」という

形を思い描くようになりました。どうしたらいいのか調べたり、動き出したのは冬頃ですね。



### 開設までの準備

**まちスポ：**情報収集はそこから始まったのですか。開設まで1年、どういう活動をされたのですか？

**重藤：**大津や長浜ですでに活動されている団体さんにお話を聞いたり、教えてもらいました。大津のオルタナティブスクール「トライアンプ」さんには1年間ボランティアに参加させてもらいました。他に、大津や草津中心に呼びかけて小中学生の親子対象にウェブアンケートをやりました。120人ぐらいの回答の中、フリースクールについては知らないという回答が多く、このエリアに学校に行きにくい子どもたちの居場所が少ないことにも確信を持ちました。

**まちスポ：**草津から大津市東部での活動をイメージされる一方で、今の場所はアクセス手段も少なく、拠点としては不便ではないですか？駅近くとかではなく、この場所、というイメージがあったのですか？

**重藤：**具体的に場所を探し始めたのは2022年でした。草津市内の貸しスペースなどで子ど

## KEYWORD!

### 子どもの居場所とは？

すべての子どもが安全で安心して過ごせる場所のこと。学校でも家でもなく、子ども自身が主体的に選び、居場所と思える場所は、昨今のコミュニティの希薄化や子どもを取り巻く課題の深刻化・複雑化を背景に必要性が高まっている。居場所がないことは孤独・孤立と深く関係しており、多様な主体が様々な居場所づくりに取り組んでいる。

もの居場所づくりの活動をしながら、フリースクールの開設場所も探していたら、ここを知り合いから紹介してもらいました。

**まちスポ：**どういう場所だったのですか。

**重藤：**糸加工や製造の「(株)古川与助商店」のご自宅兼作業所です。2階はギャラリーとして展示やワークショップなどに使うために改装されたところコロナ禍となり、活用されていなかったそうです。下見に来て、周囲の自然環境がよく木材の温かみもある部屋で、心が決まりました。



拠点として借りている「ギャラリー与助」

## 子どもの受入れ体制

**まちスポ:** 通っている子どもたちはどういう過ごし方なのですか？

**重藤:** 本人が選んですごせるようにしています。学校はいろんな枠があり、それがしんどいと思う子どもも多いです。なのでここを開設するときに、学校とは違う場所なので子どもに強制はしない、本人が選んで、意思を伝えられる場所にしたと思っていました。それぞれの子どもが見つけた場所で過ごせる、やりたい人と関心あることをやれるようにしています。今は寒い時期ですが、みんな外に出て草津川堤防やキャンプ場などで過ごすことも大好きです。



すぐそばの草津川は格好の遊び場

**まちスポ:** スタッフの皆さんの関わり方はどうですか。

**重藤:** スタッフは全部で8人いて、週2回の開校日に常時3人は来ているようにしています。みんな子どもと関わる仕事の経験者や、子どもが好き、居場所づくりの取り組みをしているという人ばかりです。スタッフみんながそれぞれの特技を活かしながら日々の過ごし方を考えるのが強みだと思っています。

**まちスポ:** 毎回同じメンバーではないのですね。日頃の様子などはどう共有されるのですか？

**重藤:** 月に1回ミーティングする他、グループLINEが中心です。保護者の方からの情報もシェアしたり、子どもの様子や関わり方など頻繁にやり取りしています。

**まちスポ:** 子どもたちの学校とも情報共有されるのですか？

**重藤:** 学校にも保護者の方を通じて毎月の様子を報告してもらったり、先生と話をすることもあります。様々な連携ができる場所でありたい

と意識していて、みんなで連携して、その子や保護者を見守っていただけるように取り組んでいます。

## こういう場でありたい、イメージ

**まちスポ:** 子どもたちの利用の仕方はどうですか？

**重藤:** いろいろなんです。毎回来ている子どももいますし、月に1回や数ヶ月に1回来る子どももいます。来なくなった子もいて、その子は別のところに通い始めたり、学校に行くようになったり、という様子です。

**まちスポ:** 「強制しない」とおっしゃられたように、どこかにその子どもの居場所があるとよい、ということなのですか。当初から数名の利用があったのですか？

**重藤:** 最初の利用者は、開設するきっかけになった中学生の男の子です。高校受験をしたいと話をしてきたんです。それなら、こういう場所を開設するけど、来てみる？と誘ったら、通ってくれることになりました。ここで勉強を頑張っていて、高校に合格し、今は高校生としてボランティアで関わってくれることもあります。彼の歩みは私たちにとっても励みになっています。



1日のスケジュール  
訪問日はチョコとホットケーキづくりの最中

**まちスポ:** いい関係が続いているのは嬉しいですね。利用する子どもたちにとって、どういう場所でありたいと思われていますか？

**重藤:** 一歩踏み出せる場所でありたいと思っています。子どもたちが自分らしくいられて、つながりができる。ここに来ることで地域の人も

つながれるので、この場所でやれてよかったと思っています。自治会にも入りましたし、地域にあるお店もイベントの会場にお借りしたり、チラシを置いてもらったり、積極的につながりを作りたいと思っています。

**まちスポ:** いろいろな方とコミュニケーションをとられているのですか。

## これからの活動

**まちスポ:** 活動を通して目標にされていることなどはありますか？

**重藤:** 就労までを意識した活動を今後行っていきたいです。今は主に小学生や中学生が対象ですが、彼らにはその先の進路があって、就労があります。ここが保護者にも大きな悩みなんです。利用する子どもたちには、一周年記念の催しではアイデアを出したり企画づくりにも参加してもらいました。自分自身もアロマ講師として個人事業にも取り組んでいますが、事業計画、販路など考えてきたことを取り入れられると思っています。そうして切れ目ない支援を目指したいです。

**まちスポ:** ご経験から企画や事業化のサポートもできるのですか。

**重藤:** 今ちょうど、子どもたちのやりたいことを、自分たちで資金を作って実現できるようにやってみようとしています。ポストカードやTシャツデザインなど、得意なことを活かして商品を作って販売する予定です。販売の難しさも感じるところし、失敗しても次の方法を考えたい、という挑戦をしてみることが大切だと思います。



**まちスポ:** やりたいことに前向きに取り組める手助けをされているのですか。いろいろな経験をできる居場所づくりをされていて素晴らしいと思いました。これからも応援しています！

2024年2月7日にお話を伺いました。

## 香こち -kokochi-(フリースクール)

団体名 香こち -kokochi-

活動地 滋賀県大津市桐生2丁目11-12  
古川与助商店自宅内「ギャラリー与助」

情報発信 <https://kokochi2022shiga.com/>  
[https://www.instagram.com/kokochi\\_shiga/](https://www.instagram.com/kokochi_shiga/)



## ■ 誌面に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人まちづくりスポット大津  
〒520-0021

大津市二本松1番1号ブランチ大津京内  
MAIL: info@machispo-otsu.net  
<https://machispo-otsu.net>  
TEL: 077-511-9814  
FAX: 077-548-6758

